

製品名: SF3b130 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17786**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	140kDa

抗原情報

遺伝子名	SF3B3
別名	SF3B3; KIAA0017; SAP130; Splicing factor 3B subunit 3; Pre-mRNA-splicing factor SF3b 130 kDa subunit; SF3b130; STAF130; Spliceosome-associated protein 130; SAP 130
遺伝子 ID	23450.0
SwissProt ID	Q15393
免疫原	抗血清はヒト SF3B3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 231-280

背景

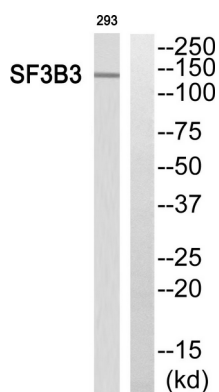
この遺伝子は、スプライシング因子 3b タンパク質複合体のサブユニット 3 をコードしています。スプライシング因子 3b は、スプラ

イシング因子 3a および 12S RNA ユニットとともに、U2 核内小核リボ核タンパク質複合体 (U2 snRNP) を形成します。スプライシング因子 3b/3a 複合体は、イントロンの分岐部位の上流にある pre-mRNA に配列非依存的に結合し、U2 snRNP を pre-mRNA に固定すると考えられます。スプライシング因子 3b は、マイナー U12 型スプライソソームの構成要素でもあります。サブユニット 3 は、STAGA (SPT3-TAF(II)31-GCN5L アセチル化酵素) 転写コアクチベーター-HAT (ヒストンアセチルトランスフェラーゼ) 複合体、および TFTC (TATA 結合タンパク質遊離 TAF(II)含有複合体) の構成要素としても同定されています。これらの複合体は、クロマチン修飾、転写、スプライシング、DNA 修復に機能する可能性がある。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: スプライシング因子 SF3B のサブユニット。U2 snRNP が pre-mRNA の分岐点配列 (BPS) に安定的に結合することで形成される「A」複合体の組み立てに必須である。分岐点上流における SF3A/SF3B 複合体の配列非依存的な結合は必須であり、U2 snRNP を pre-mRNA に固定する可能性がある。また、「E」複合体の組み立てにも関与している可能性がある。マイナーな U12 依存性スプライソソームにも属し、まれなクラスの核内 pre-mRNA イントロンのスプライシングに関与しています。類似性: RSE1 ファミリーに属します。サブユニット: スプライソソーム C 複合体で同定され、少なくとも AQR、ASCC3L1、C19orf29、CDC40、CDC5L、CRNKL1、DDX23、DDX41、DDX48、DDX5、DGCR14、DHX35、DHX38、DHX8、EFTUD2、FRG1、GPATC1、HNRPA1、HNRPA2B1、HNRPA3、HNRPC、HNRPF、HNRPH1、HNRPK、HNRPM、HNRPR、HNRPU、KIAA1160、KIAA1604、LSM2、LSM3、MAGOH、MORG1 で構成されています。PABPC1、PLRG1、PNN、PPIE、PPIL1、PPIL3、PPWD1、PRPF19、PRPF4B、PRPF6、PRPF8、RALY、RBM22、RBM8A、RBMX、SART1、SF3A1、SF3A2、SF3A3、SF3B1、SF3B2、SF3B3、SFRS1、SKIV2L2、SNRPA1、SNRPB、SNRPB2、SNRPD1、SNRPD2、SNRPD3、SNRPE、SNRPF、SNRPG、SNW1、SRRM1、SRRM2、SYF2、SYNCRIP、TFIP11、THOC4、U2AF1、WDR57、XAB2、および ZCCHC8。少なくとも 8 つのサブユニットから構成されるスプライシング因子 SF3B の構成要素。SF3B1/SAP155/SF3B155、SF3B2/SAP145/SF3B145、SF3B3/SAP130/SF3B130、SF3B4/SAP49/SF3B49、SF3B14A、PHF5A/SF3B14B、SF3B10、および SF3B125。SF3B はスプライシング因子 SF3A および 12S RNA ユニットと結合して、U2 小核リボ核タンパク質複合体 (U2 snRNP) を形成する。SF3B3 と SF3B1 の相互作用は、SF3B3 と SF3B2 の相互作用よりも強固である。STAGA 転写共役因子-HAT 複合体と結合する。SUPT3H と相互作用する。

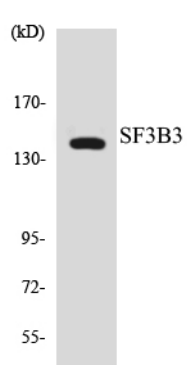
研究分野

スプライソソーム;

画像データ



SF3B3 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは SF3B3 ペプチドでブロッキングされている。



SF3B3 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウエスタン ブロット分析。